

きらり 通信

平成30年3月16日（金）発行 第30号

福島県立須賀川支援学校

tel: 0248-76-2511 fax: 0248-72-4729

ホームページ <http://www.sukagawa-sh.fcs.ed.jp>



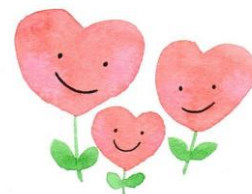
『共に学び合う子供たち、そして、共に学び合う教師たち』

校長 鹿目 敦子

40年ほど前、大学生だった頃、先輩が、「アメリカでは、養護学校で学ばせたいという親が多い。」と話してくれました。驚く私に、「手厚く指導してもらえることがいいということだよ。」と教えてくれました。

日本でもようやく、インクルーシブ教育システムが推進され、連続性のある多様な学びの場が整備されてきています。それに伴い、特別の場で教育を受けることに理解が進み、特別支援学級や通級指導教室が増え、特別支援学校の在籍者も増えています。

20年ほど前、私はことばの教室の担当をしていた頃、通級指導教室や特別支援学級がなかなか設置されず、設置数が増えることを切実に望んでいました。困っている子供たちが、必要なとき必要な支援を受けることができる場として、また、本気で向き合おうとして困っている先生方がアドバイスを求めたりする場として、どうしても必要だと考えたからです。そして、地域の特別支援学校と繋がって指導のノウハウを広げていければと思っていました。しかし、整備が進んできた今、その思いはまだ、十分実現されてはいないと感じています。



目指していきたいことは、特別の場で学んでいる人たちが、障がいのない人たちから切り離されずに交流しながら、互いの良さを認め、自分の価値を高めていくことが出来るようにすることだと思います。子供たちの交流及び共同学習を進めていくのと同時に、教員の交流を進め、子供たちがどこで学んでも一人一人が最大限の力を発揮できる学びが保障されるような授業を提供していくことが必要です。

平成29年度に、須賀川支援学校は、地域の研究会に参加させていただき、小中学校の指導法を学ぶ機会を得て、大変有意義でした。次年度も、地域の学校と本校の教員が行き来し、互いの教育技術を学び合う機会をたくさん持ちたいと思います。新たに配置される教育支援アドバイザーの活用を含め、さらなる交流をよろしく願います。

地域支援センター「きらり」～今年度もありがとうございました～

今年度も地域支援センター「きらり」の活動に御協力と御理解を頂きまして、本当にありがとうございました。地域支援センターでは、よりよい指導や支援を一緒に考える相談、特別支援教育に関する研修への協力などを行っています。今年度も次ページに記載されていますように、多くの方々と共に考える機会をいただきました。

今後も地域の皆様に必要とされる地域支援センター「きらり」となるよう教員一人一人が特別支援教育に関する専門性を発揮していきます。



今後もお気軽にお電話ください。

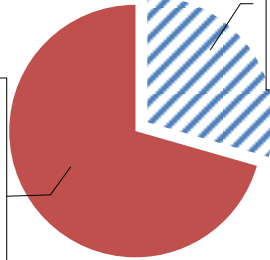
地域支援センター「きらい」相談報告

今年度の地域支援センター「きらい」での相談支援は、以下の通りです。今後とも地域の幼児児童生徒、保護者の方、子ども達と日々かかわっている先生方、関係機関の方々の御活用をお待ちしております。一緒に考えていきましょう。



地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校、須賀川市おひさま学級等に訪問しました。一人一人の幼児、児童生徒の支援方法について先生方と一緒に考えました。

127人
(相談対象のお子さんの総数)



53件



幼児から高校生、児童生徒に関わっている先生方や保護者の方に本校「きらい」へおいで頂き、日頃の悩みや支援方法について相談させていただきました。

【相談内容の例】

- ・「漢字がなかなか覚えられないようです」
- ・「いろいろなことが気になり、集中して学習に取り組めないようです」
- ・「なかなか登校できないです。どのように学校とつながればよいでしょう」
- ・「家で子どもに対して、どのようにかかわれば良いですか」

合理的配慮その後

2016年4月に施行された「障がいを理由とする差別の解消に関する法律（障害者差別解消法）」により“合理的配慮”を可能な限り提供することが、行政・学校・企業などの事業者求められるようになり2年が経とうとしています。まだまだ理解が不足しているところもあるようです。どんな配慮が必要なのか？は、お子さんの特性や困っていること、生活の場面や環境等によっても違います。また、お子さん自身の成長や、就学・進級・卒業などの変わり目で、必要としなくなる配慮、新たに必要となる配慮もあります。スムーズな途切れのない配慮が提供されるためには、情報共有や話し合いが必要です。以下のサイトには参考となる事例が掲載されています。

○国立特別支援教育総合研究所HP

インクルーシブ教育システム構築支援データベース

(<http://www.nise.go.jp/cms/>)

○福島県特別支援教育センターHP

教材支援機器ポータル(<https://special-center.fcs.ed.jp/>)

○内閣府HP 合理的配慮サーチ

(<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/>)



おすすめの本

武田鉄郎著 Gakken

『発達障害の子どもの

「できる」を増やす

提案・交渉型アプローチ

～叱らないけど譲らない支援～』



学習上・生活上の困難を抱える子どもの問題行動、不登校、場面緘黙、情動コントロール、極端な思考の偏りなどに有効な手法について事例や漫画とともに解説しています。子どもの「やりたくない」「できない」の原因を見つけ、自己選択と自己決定で成功体験を積ませて自尊感情を育てるためのヒントが書かれています。



